



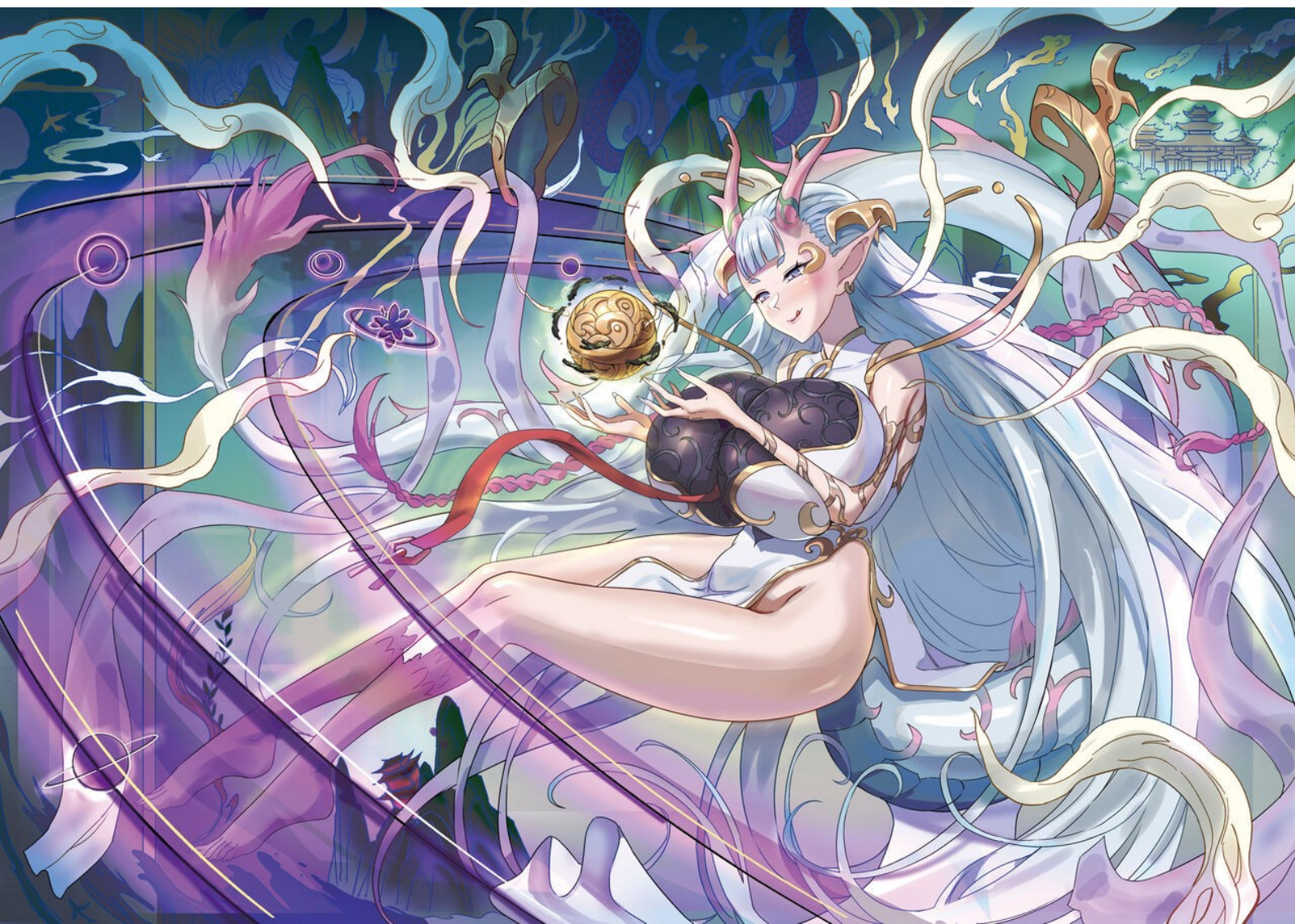
龍吟

Dragon Roars, Wind Rises

雲起

彷徨える大陸  
異世界見聞録

Wandering Continents  
Travelogue in Otherworld



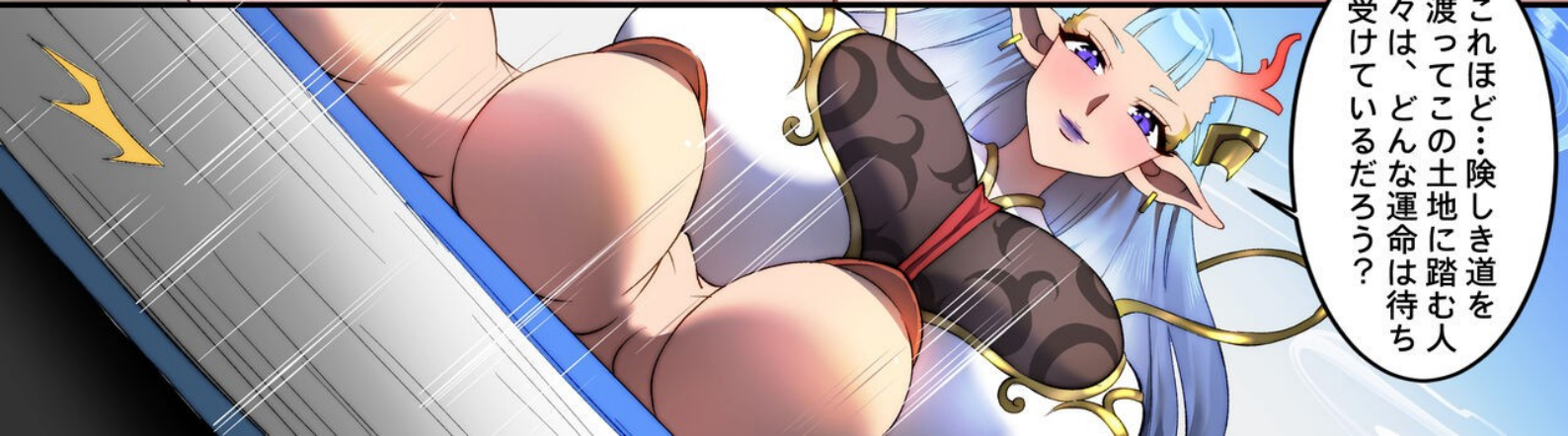
前回のあらすじ：  
遠くの未来に、太陽は  
尽きる寸前に、人類は  
地球を諦めて巨大なエ  
ンジンで都市を地表か  
ら引っ張り上げ、箱舟  
として「異世界」に向  
かう！



しかし、パラダイスとな  
りうるべきな異世界は、  
多く不思議な巨大生物が  
存在している！



これほど：険しき道を  
渡ってこの土地に踏む人  
々は、どんな運命は待ち  
受けているだろう？





瞬く時間で、俗世の民にこれほど消耗されるなんて、妾が陰陽二界を渡る仙法を熟知していなければ、汝たちは冥界を新居を置くだな

人類と自称した微生物よ、汝たちはこれほど原始な技術で寰宇之壁を越えてこの境界に侵入するとは、蛮勇と称すべきか、愚昧と称すべきべきか？



俺らを救った  
龍女様だ！

空を  
みろ！

ゴイッ



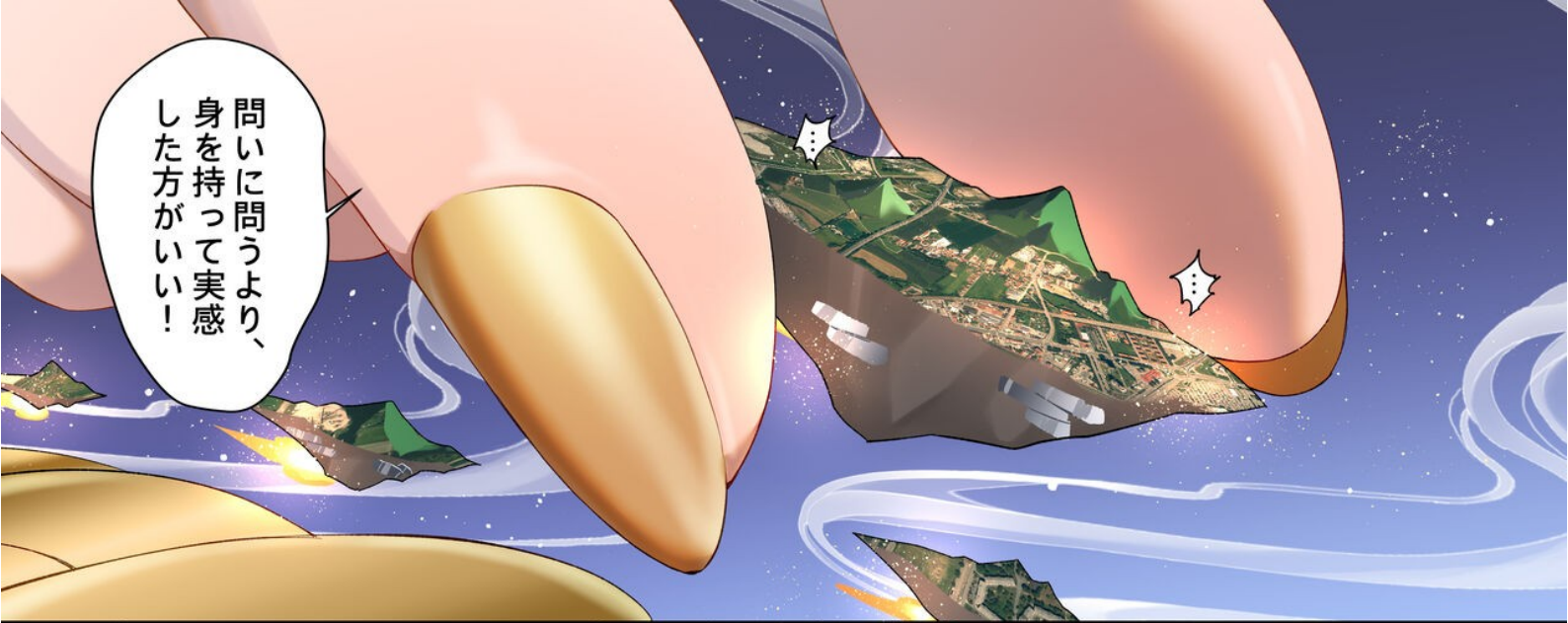
彼女…何を  
言ってる？



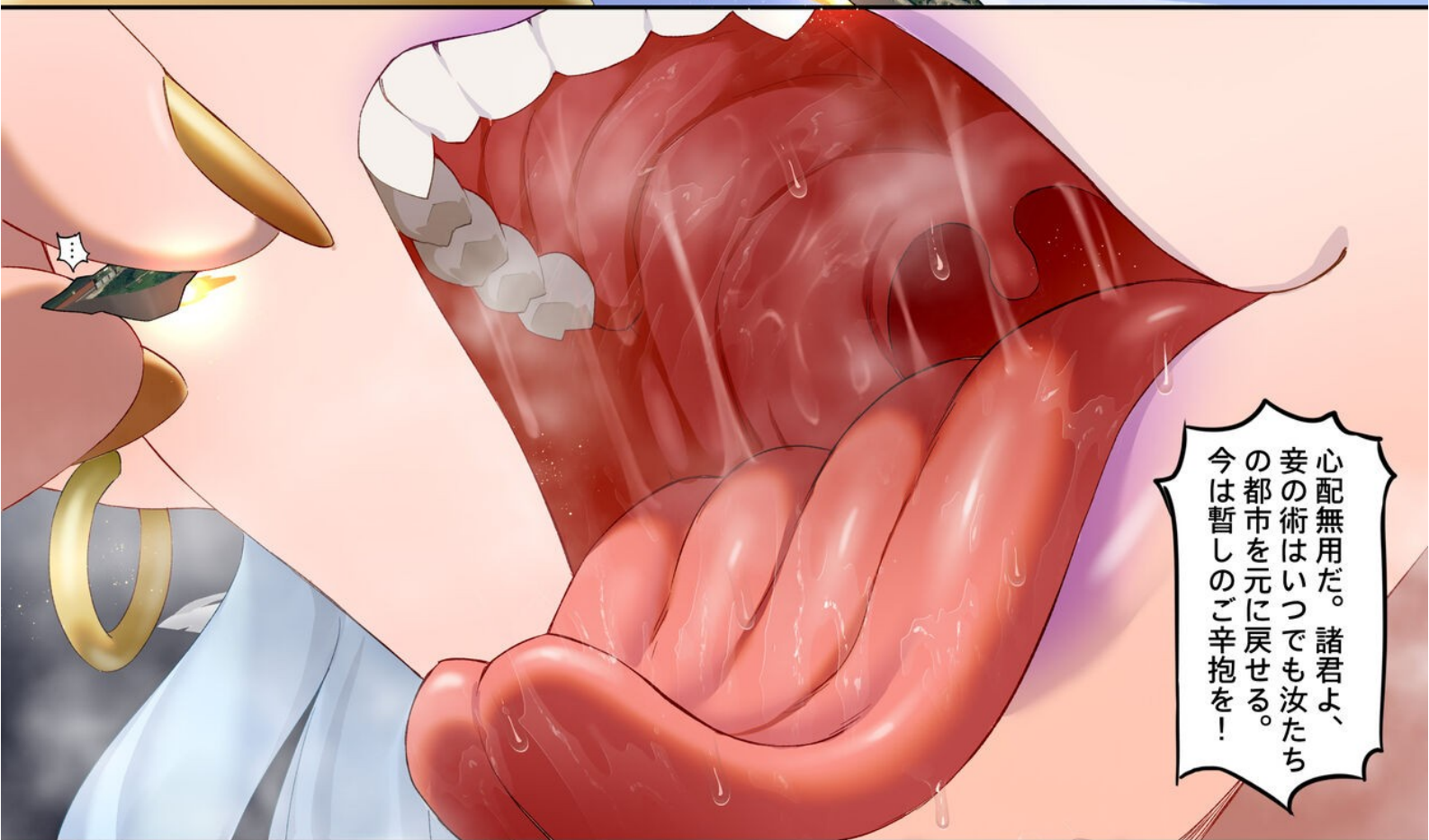
まさか…汝たち  
に不思議な神妙  
が持っているか



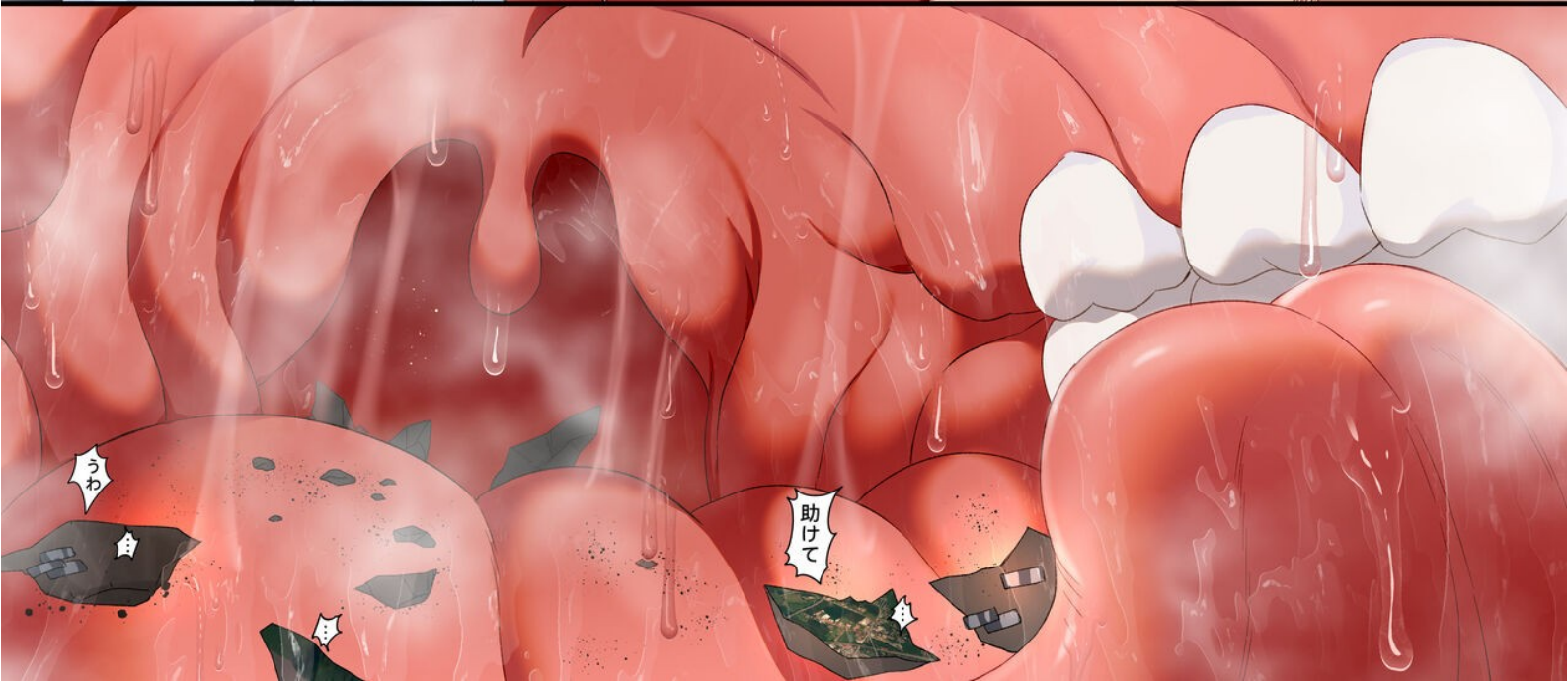
しかし、汝たち本当に  
小さすぎて存在すらな  
かったようだ。とはい  
え、塵世の民に愛され  
ているのは、何故だ？



問いに問うより、  
身を持って実感  
した方がいい！

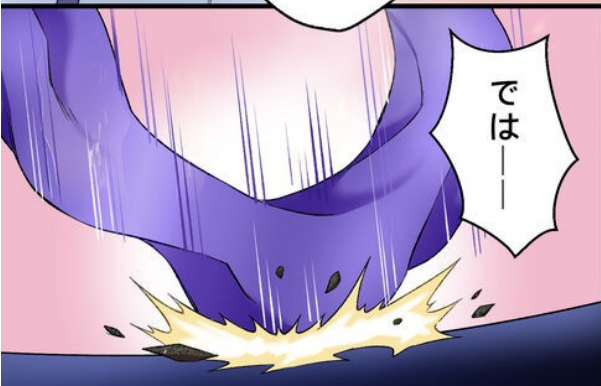


心配無用だ。諸君よ、  
妾の術はいつでも汝たち  
の都市を元に戻せる。  
今は暫しのご辛抱を！



助けて

うわ



妾が未開化の塵世  
の民のものまねで、  
汝たちの不思議  
を明かそう！

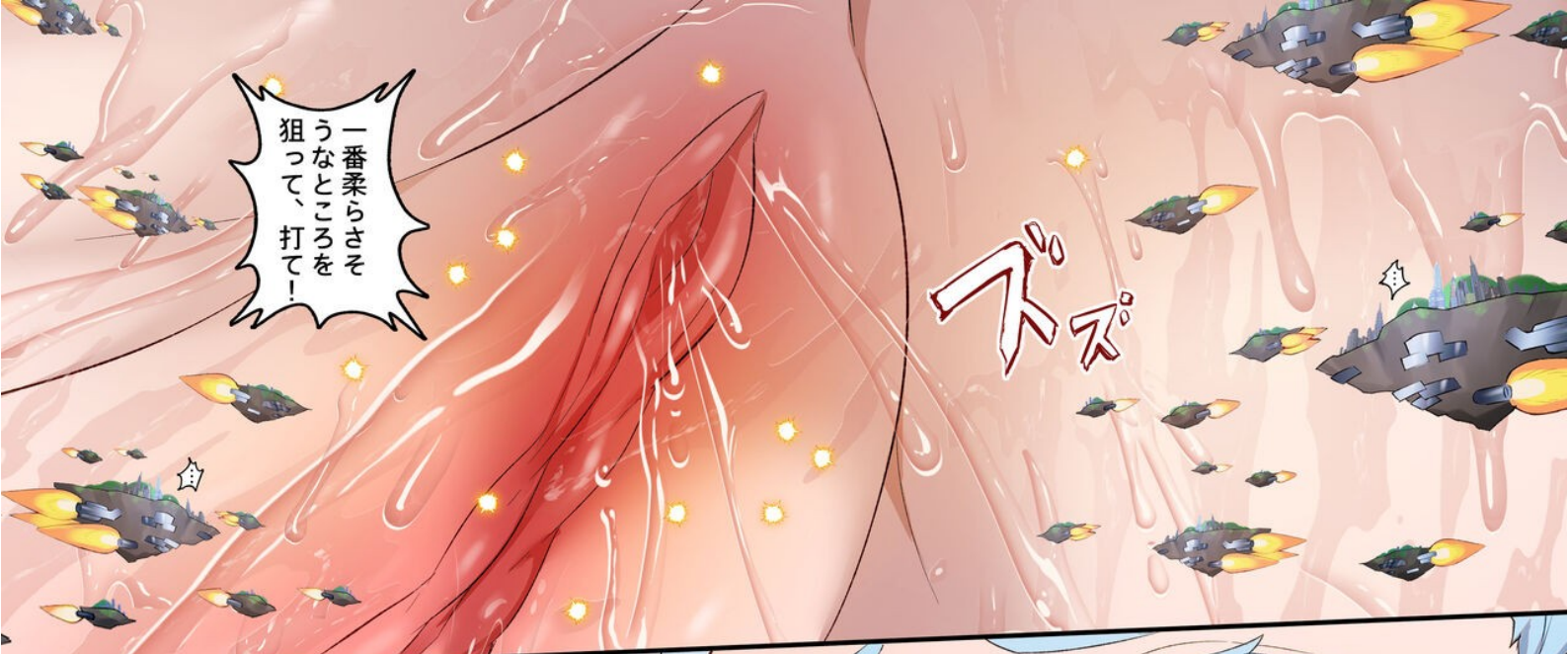
ちゅが

ふふ

ふふ

おのれ！善良  
な女神でも思  
ったのに！

遠慮いらん！  
ありったけの  
火力を全部出せ！



一番柔らさそ  
うなところを  
狙って、打て！

ズズ



ああっ



かつてない快感……！  
いかに神秘であり！  
探究すべし！

ドン！

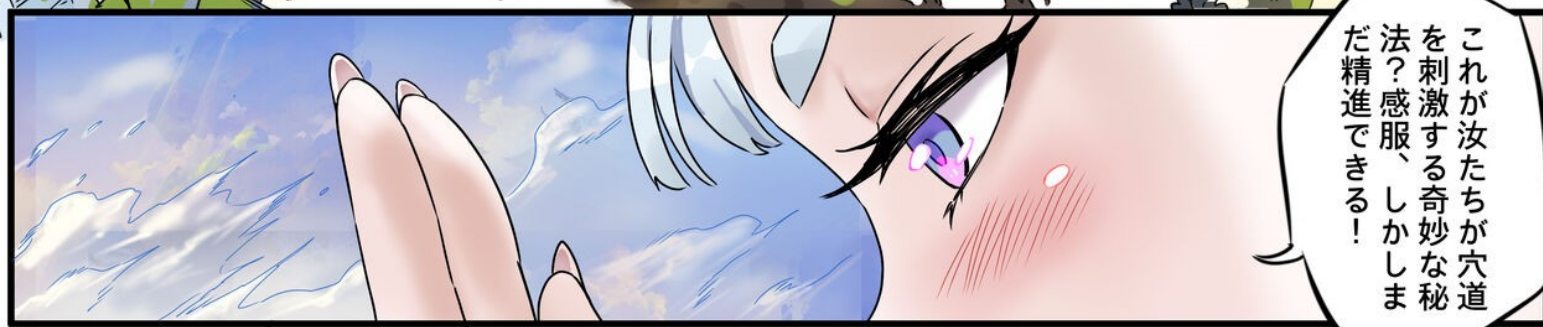
ザザザザ



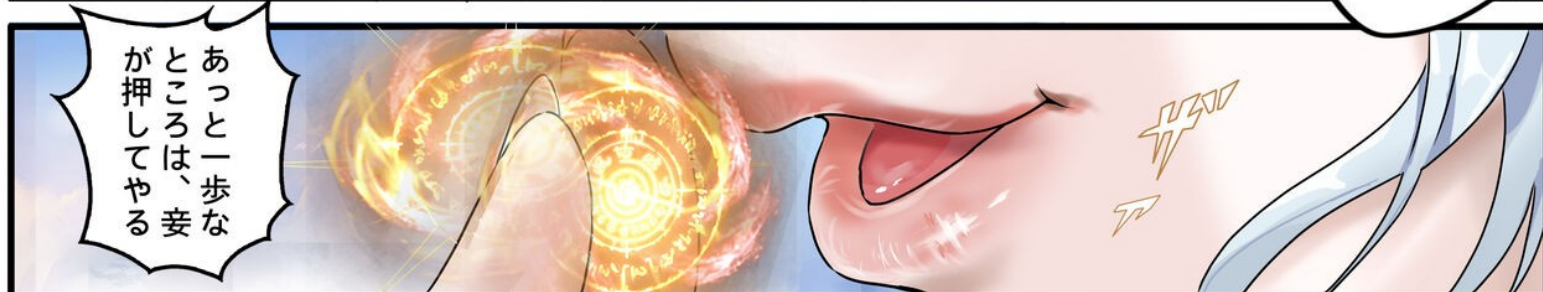
あははは！これほど  
絶頂体験、数千  
年ぶりだ！

プチ

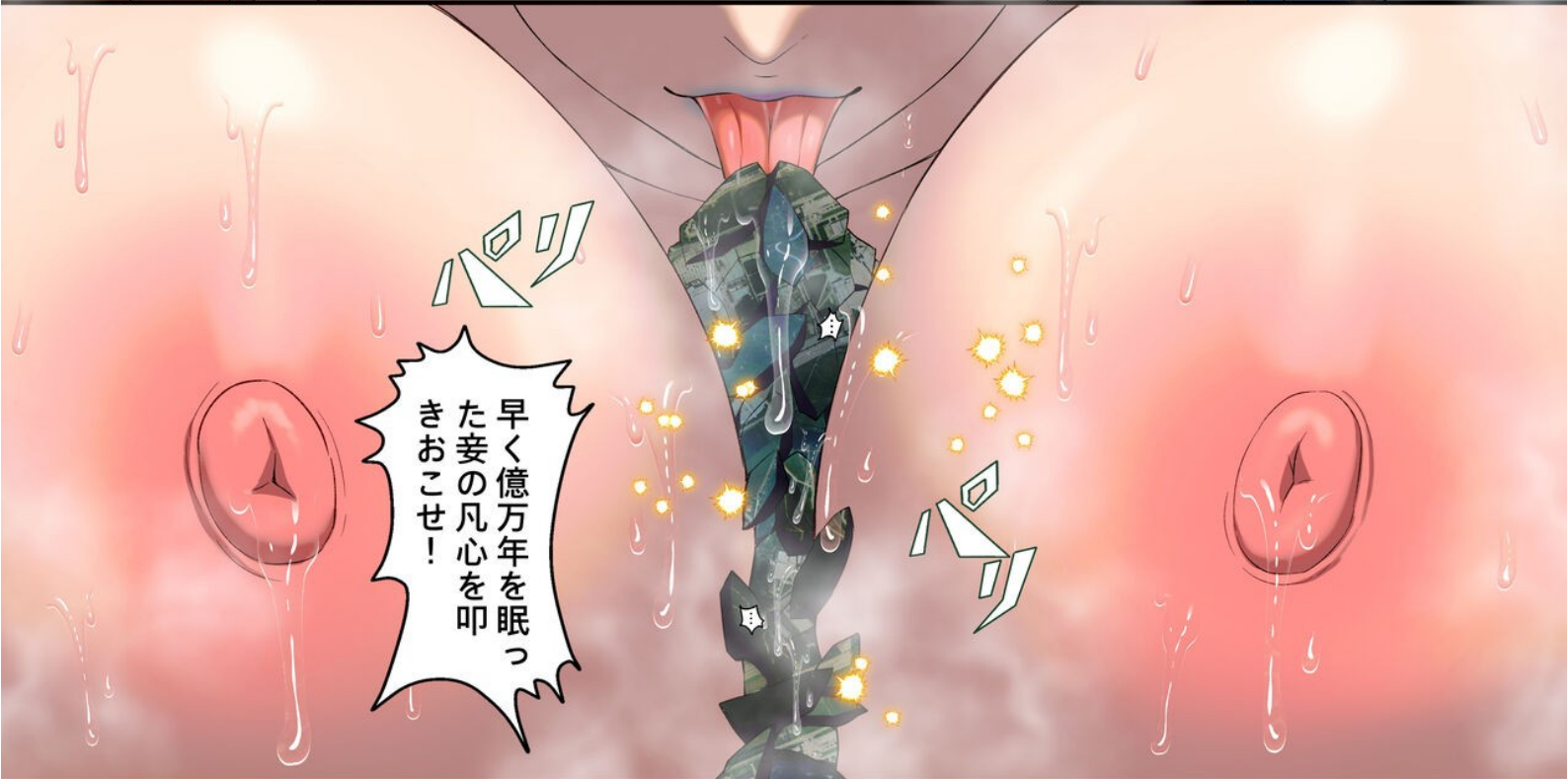
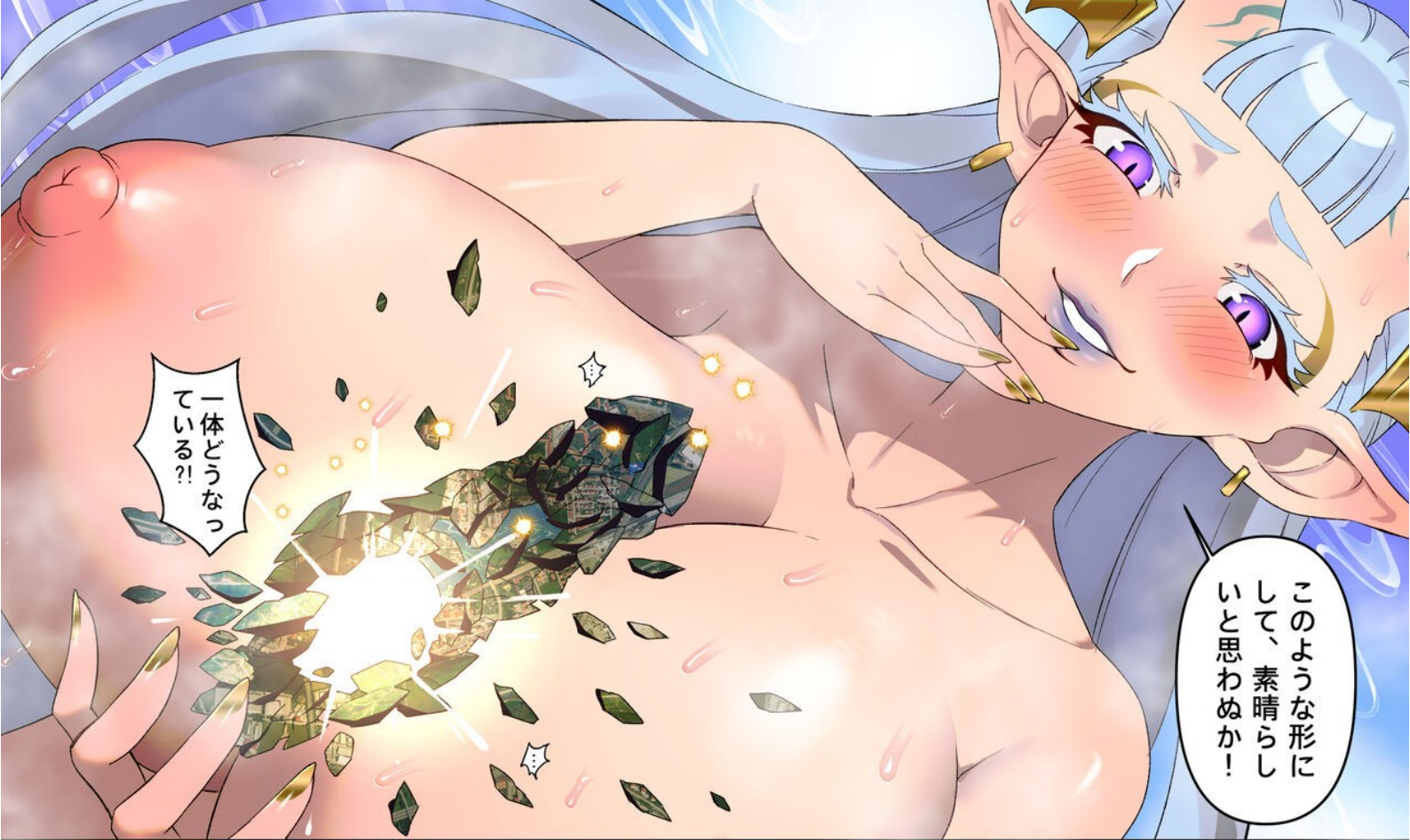
ドズッ



これが汝たちが穴道  
を刺激する奇妙な秘  
法？感服、しかしま  
だ精進できる！



あっと一歩な  
ところは、妾  
が押してやる



汝たちは準備できたか…ふん、まだ慌てる様子だな？心配無用じゃ、妾が優しい心持ちじゃぞ！

ツツツ…



ツツツ…

あ…入ってきたぞ！  
汝たちは懐かしさを感じたか？お！これもある意味では故郷と喻えるじゃ？



愉快！実に愉快！  
極上の楽だ！

このままでは  
人類の文明は  
終わりだ！

ほかの手は  
ねえのかよ  
博士！

【博士】

彼女の体内に集まる  
内力は私が設計したタ  
イムスリッパエネルギー  
と似ている。これは  
チャンスだ。やつの内  
丹をエネルギー元とし  
て、全大陸のパイプを  
通じてエネルギーを凝  
縮して一発喰らえ！

なるほど  
では博士の言  
う通りに！

これが人類最  
後の挑み！  
黙示録の光！  
発射！



ふ、ふ…見事だった、  
諸君。汝たち既に約束の  
地に辿るゲートは開いた。  
安心して行くがよい！

ズン

くわー

どろろ

素晴らしい、  
新しい宇宙だ！

全艦隊、  
前進！

まって！なんで  
恒星系が自分か  
らぶつかる！

前方に居住可能  
な星があるかも  
しれない！

彼女は嘘を言っ  
ていないのだ。  
最高だ！

ズズ

うふ！これがお姉さんが言う  
異世界の縁か？地下数千年を  
費やして時は無駄ではないよ  
うだ。どうやら可愛い皆さん  
が妾の天命ね！共に未来永劫  
を過ごそうではないか！

ドクン

ドクン

バリ

！！



聞こえたぞ、  
聞こえたぞ！  
おもちゃたち  
が呼んでいる  
声！



さあ、穴掘り  
大工、道案内  
は頼む！

惚れないって！  
小生に無理っす！

{完}